

## ● 投稿規定

『教育社会学研究』に投稿する論文は、次の規定に従うものとする。

1. 投稿者は、日本教育社会学会の会員であること。
2. 日本教育社会学会倫理宣言の趣旨に則り、論文を投稿すること。
3. 論文は未発表のもので、かつ内容がオリジナルなものであること。ただし、口頭発表及びその配布資料はこの限りでない。投稿論文と目的・方法・知見等の面で重複している論文、調査報告、ディスカッション・ペーパー等をすでに発表（予定を含む）している場合は、そのコピーをすべて添付した上で投稿すること。
4. 「拙著」「拙稿」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、投稿者名や所属機関が判明、推測できるような表現は控える。ただし、これらの記載が必要な場合は、採択決定後に加筆することができる。
5. 論文原稿は横書きとし、ワープロで作成するものとする。次の点を厳守すること。
  - (1) 本文、図、表、注、引用文献を含めて、A4判（37字×32行）で18頁以内とする。なお、論文タイトルを記した表紙を別途付すこと。
  - (2) 全角文字の大きさは10～11ポイントとし、余白を「上30ミリ、下40ミリ、左右30ミリ」取ること。
  - (3) 表紙に論文タイトルのみを記し、書式は『教育社会学研究』に従って、1頁目以降「37字×32行」として執筆する。表紙は頁数にカウントしない。
  - (4) 本文には、適宜、見出しおよび小見出しをつける。見出しの前後には1行のスペースを入れ、小見出しの場合は、前に1行のスペースを入れる。
  - (5) 「注」および「引用文献」の前にも1行のスペースを入れる。
  - (6) 「本文」「注」および「引用文献」は、全角文字を使用する。
  - (7) 欧文、および算用数字は、半角文字を使用する。
  - (8) 図、表は、本文中の適切な箇所に、自らレイアウトし作成すること（切り貼りも可）。なお、図表のある頁も、(2)における余白指定に従うこと。
  - (9) 規定枚数を超過した論文は受理しない。
6. 注（引用文献は除く）は文中の該当箇所に、(1), (2), ……と表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。
7. 引用文献の提示方法は、原則として次の形式に従うこと。
  - (1) 本文中では、次のように表示する。

「しかし、有田（1990, p. 25）も強調しているように……」  
「……という調査結果もある（Chiba 1989, Honda 1990a）。」  
「デュルケームによれば『……ではない』（Durkheim 訳書, 1981, pp. 45-46）」
  - (2) 同一著者の同一年の文献については（Honda 1990a, 1990b）のように a, b, c, ……を付ける。
  - (3) 文献は、邦文、欧文を含めてアルファベット順とし、以下の例に従って注の後にまとめて記載する。翻訳書・翻訳論文については、原典の書誌情報を記載する。

有田祐子, 1990, 『教育社会学』 西洋館出版。  
Chiba, Masao, 1989, *Sociology of Education in Japan*, US Press.  
Durkheim, Émile, 1938, *L'Évolution pédagogique en France*, Félix Alen, 2 vols., (=

- 1981, 小関藤一郎訳『フランス教育思想史』行路社).
- Honda, Naoki, 1990a, *Sociology of Education*, Tokyo Press.
- 1990b, *Sociology of School*, Japan Press.
- 井上敏子, 1990, 「教育社会学の展望」『教育社会学研究』第50集, pp. 10-25.
- Maeda, Taichi, 1990, “Schooling in Japan”, *American Journal of Sociology*, Vol. 62, No. 3, pp. 5-18.
- Tachibana, Kaoru, 1990, “Recent Trends in the Sociological Studies of Education,” T. Yamada ed., *Sociology of Education*, UK Press, pp. 17-28.
- 東洋一郎, 1990, 「教育社会学の反省」山田太郎編『教育社会学講座1 教育社会学の方法』南洋館出版, pp. 10-25.
8. 締切日は5月10日および11月10日とする(消印有効)。
9. 送付物は以下の通りとする(日本文要旨, 英文要旨ともに, 『教育社会学研究』に掲載される)。なお, 送付物に不備のある場合は受理しない。
- (1) 投稿論文正本(表紙に論文題目, 名前, 所属機関名, 連絡先〔郵便番号含む〕を記載する): 1部(ページ番号をつけること)。
  - (2) 投稿論文コピー(表紙に論文題目を記載する。名前, 所属機関名, 連絡先は記載しない): 4部(ページ番号をつけること)。
  - (3) 日本文要旨正本(600字以内, 論文題目, 名前, 所属機関名, 連絡先〔郵便番号を含む〕を記載する), 必ず日本語のキーワード3語を付すこと: 1部
  - (4) 日本文要旨コピー(名前, 所属機関, 連絡先を記載しない): 4部。
  - (5) 英文要旨正本(500words程度でタイプないしワープロ仕上げ, 論文題目, 名前, 所属機関名〔公式英文名〕, 連絡先〔郵便番号, 電子メールアドレスを含む〕を英文で記載する), 必ず英語のキーワード3 wordsを付すこと: 1部
  - (6) 英文要旨コピー(名前, 所属機関, 連絡先を記載しない): 4部。
  - (7) 投稿論文と目的・方法・知見等の面で重複している論文, 調査報告, ディスカッション・ペーパー等をすでに発表(予定)している場合は, そのコピー: 1部(第3項を参照)。
  - (8) 上記(7)に相当する論文等がある場合には, 投稿論文におけるそれらとの共通点・相違点について説明した書面(A4判1枚): 1部。
10. 原稿は返却しない。
11. 本誌に掲載された論文等の著作権については, 本学会に帰属する。また, 著者自身が, 自己の著作物を利用する場合には, 本学会の許諾を必要としない。採択された論文等は国立情報学研究所電子図書館(NII-ELS)及び科学技術振興機構に公開される。
12. 送付物の宛先: 〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-16-7  
東洋館出版社内 日本教育社会学会紀要編集委員会  
TEL.03-3823-9207

\* 本誌の英文要旨はSociological Abstracts等に収録され, 英文要旨の著作権は同誌が保有する。ただし, 収録の際に同誌で英語表現の修正や短縮などを行う場合がある。